神奈川新聞　2011年12月19日（月）

全国中学駅伝

田奈、連覇逃す

男子7位

中学駅伝の日本一を競う第19回全国中学校駅伝大会が18日、山口市の山口県ゼミナールパーク・クロスカントリーコース（男子6区間18キロ、女子5区間12キロ）で行われ、男子で史上3校目の連覇を狙った神奈川代表の田奈は57分29秒で7位だった。女子は初出場の茅ケ崎が43分53秒で38位だった。

1区25位で滑り出した田奈は徐々に挽回し、4区上岡、5区亀野、6区松村と後半3選手がいずれも区間1桁順位の走りを見せ、チームを入賞圏内に押し上げた。県勢の2年連続入賞は男女を通じて初めて。

茅ケ崎は2区酒野、3区沼山、4区小川の中盤3人が粘り、1区46位から順位を押し上げた。

男子は櫛形（山梨）が56分59秒で、女子は新居浜東（愛媛）が40分22秒で、それぞれ初優勝した。

4、5区で意地と底力

▽男子高橋（中富形）（山梨）・芝崎（五味）（鹿野）（鹿児島）・笠井（鹿）56分59秒②斎東（山口）57分6秒③鳴陳（長崎）57分7秒④加藤川山学（兵庫）57分11秒⑤柳井（山口）57分24秒⑥宮原（広島）57分47秒⑦佐東（神奈川）57分50秒⑧石巻（宮城）57分50秒

【男子区間1位記録】

▽1区（3キロ）中村順（山口・萩東）9分3秒

▽2区（3キロ）五味翔太（山梨・櫛形）9分10秒

▽3区（3キロ）平野雅之（愛知・石巻）9分8秒▽区間新

▽4区（3キロ）永山博基（鹿児島・鹿野）9分2秒

▽5区（3キロ）阿部裕夢（兵庫・鳴尾）9分8秒

▽6区（3キロ）山口健一（福岡・豊浦）9分11秒

【田奈区間記録】

区	距離	選手名	区間記録	総合
1区	（3キロ）	丸山航也③	9分33秒	㉕㉕
2区	（3キロ）	荒井俊亮③	9分35秒	⑰㉒
3区	（3キロ）	瀬能展也③	9分45秒	⑳㉑
4区	（3キロ）	岡上新平③	9分17秒	⑤⑪
5区	（3キロ）	平野航太郎③	9分40秒	②⑥
6区	（3キロ）	松村颯③	9分39秒	⑧⑦

前半3区を終えてトップと52秒差の21位。連覇の夢が事実上ついえたこの意地と底力を見せた。

「順位は気にせず、前にいたら抜かすだけだった」と4区上岡。区間5位の快走で10人を抜き、11位で平野にたすきをつなぎ、最初の1000メートルを2分45秒のハイペースで駆け抜けた。5人を抜き去り、トップと23秒差の6位まで詰め寄ったその瞬間が、今年の田奈のベストポジションだった。

「区間5位でも多く抜こう」と切り替えて4区上岡につなぎ、後半の3人で逆転する戦略だったが、実際は52秒差に。「トップの背中を見ながら追い掛ける」という鉄則が崩れ、猛追も及ばなかった。指揮官は「記録上は（優勝を）狙えたが、史上3校目の連覇はならなかった。加藤智明監督（48）は黒いサングラスで込み上げた思いを隠し、「すみません」と泣きじゃくる選手一人一人の手を無言で握りしめた。

鉄則崩れ猛追及ばず

「注目の田奈は34秒差」。レース（展開）を伝えるアナウンスが逐一知らせるほど、昨年王者の走りに関心が集まっていた。全国中学大会出場者が4人、3000メートル8分台が3人という層の厚さが、いやが上にも連覇への期待を高めていた。

メンバーは不動の6人。誰かにブレーキがかかったわけではない。「周りが前半強かった」と加藤監督。蓋くても先頭から50秒差で終わりたかった」とそろって悔しがったが、「このメンバーで全国を走れたことを誇りに思う」と口をそろえた。苦楽を共にした同級生6人で県、関東、全国と戦い抜いた達成感が、徐々に込み上げているようだった。

平野は「先生に10回怒られ、1回褒められる。その1回がうれしかった」とも。レース後、加藤監督は「4、5区の追い上げはすごかった。底力を出してくれた」と賛辞を惜しまなかった。

「たくましさが足りなかったのかもしれない」と、あらためて頂点に立つ難しさを感じていた。

それでも、2年連続入賞は県勢初の快挙。「あいつら、かわいそうですよ。本来入賞なら大したもんなのに」。加藤監督はそう笑い飛ばした後、「明日からまた、地道な日々の取り組みが始まる。まずは部内で人材を発掘して…」と次の1年に思いを巡らせていた。